

『じゃらん』の取組について

株式会社リクルート  
Division統括本部  
旅行Division  
領域企画部  
部長 西本 伸行



コロナ禍で旅行ニーズは変化し、この状況はコロナ後もしばらく続くことが想定される

『じやらん』は、この変化にデジタルをキーワードに地域消費の拡大を目指している

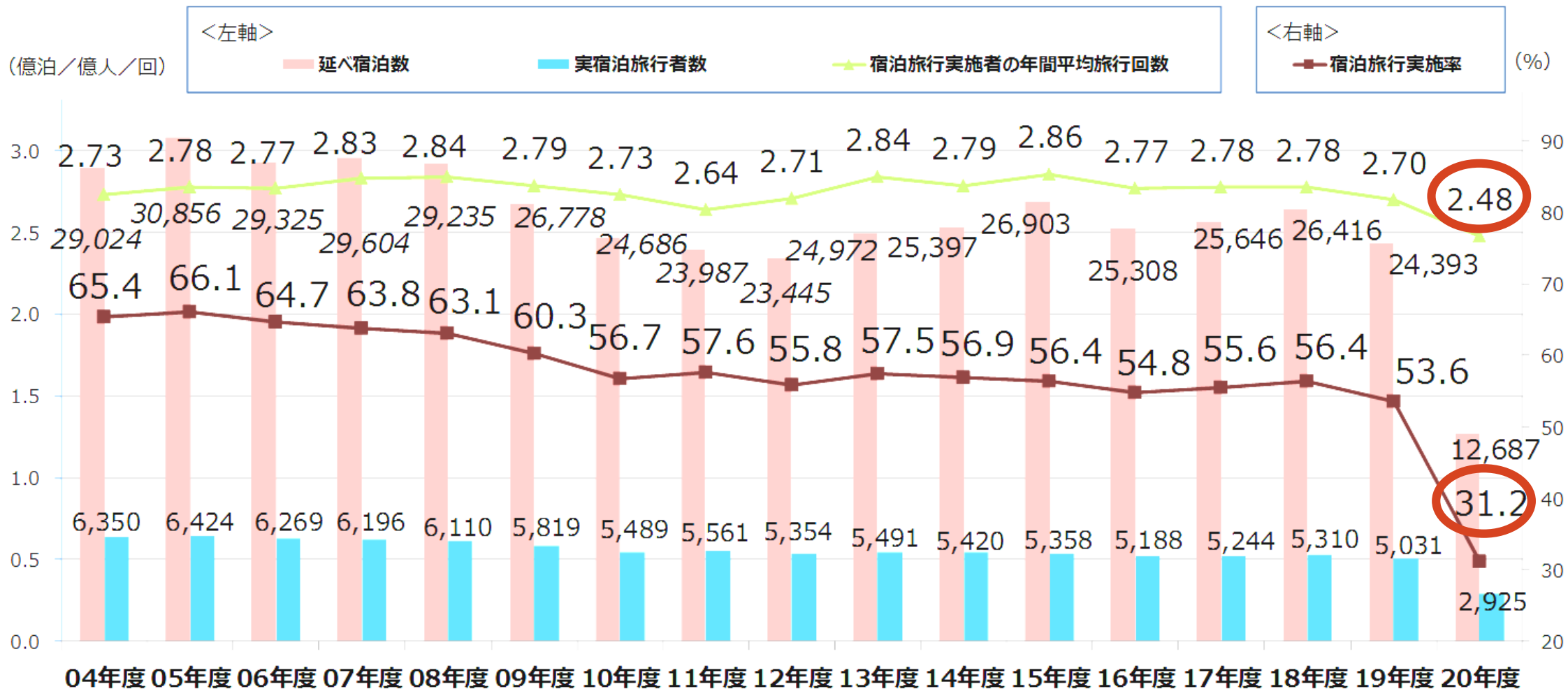
デジタルデータを持つ幅広いサービスが強みであり、直近は自治体と観光DXの取組をスタートしている



- 国内宿泊旅行実施率は前年度53.6%から31.2%へ大幅減少。調査開始以来、過去最低値。
- 年間平均旅行回数は2.48回にとどまる。

※ 延べ宿泊数 = 人口 × 旅行実施率 (= 実宿泊旅行者数) × 年間平均旅行回数 × 泊数  
 ※ 宿泊数の設問形式を14年度から変更したため、13年度以前の延べ宿泊数(斜体の部分)とは直接比較できない

## 国内宿泊旅行実施率、延べ宿泊数、実宿泊旅行者数、宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数

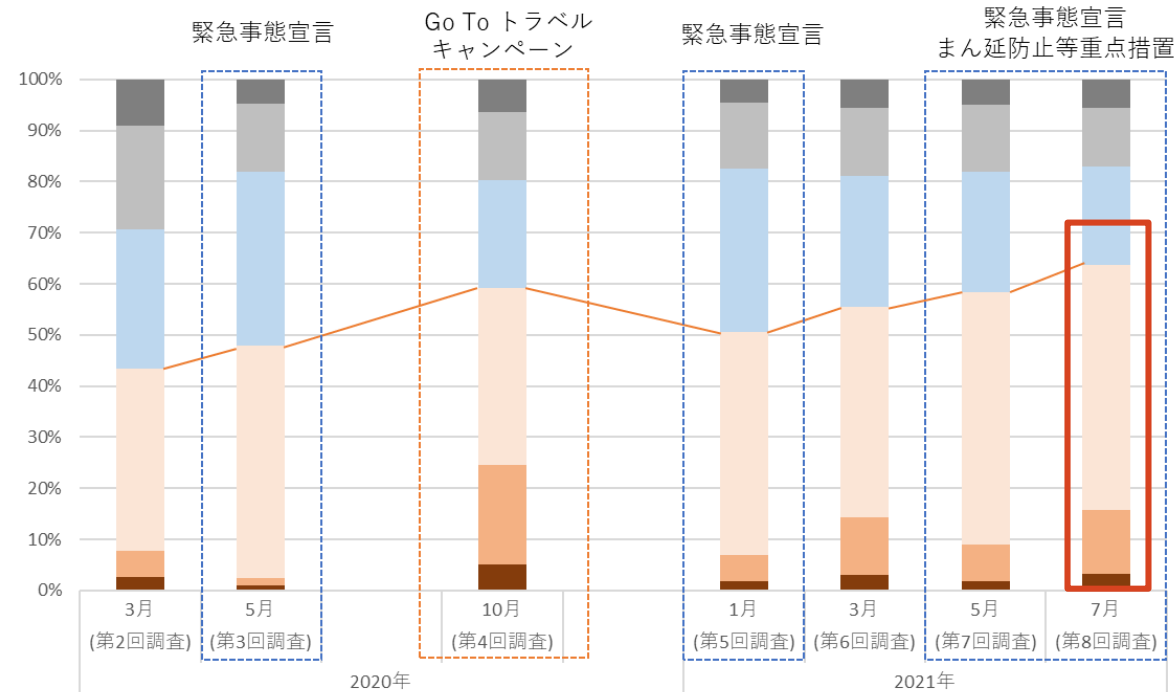


# 旅行ニーズの回復傾向につて



- 『じゃらんリサーチセンター』の調査では下表の様にGTT期間中と同程度まで旅行意向が高まっていることが分り、旅行ニーズは堅調に回復をしてきていることが分ります。

Q.今後のレジャーの計画についてお聞きます。新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、現時点でのお気持ちに近いものをお選びください。※複数予定しているものがある場合は、直近で予定しているものについてお答えください。【国内宿泊旅行】（全体／単一回答）



旅行意欲がある層が  
**63.6%**となり、  
調査開始以来最高値

■ わからない	9.0	4.8	6.4	4.5	5.6	5.0	5.6
■ コロナ禍に関係なくもともと行かない層	20.4	13.2	13.3	13.0	13.4	13.0	11.4
■ 旅行をキャンセル・しばらく行かない層	27.2	34.1	21.2	32.0	25.6	23.7	19.3
■ 旅行に行きたいが様子をみている層	35.5	45.3	34.7	43.6	41.0	49.4	47.9
■ 予定をしており、気を付けながら行く層	5.1	1.6	19.6	5.1	11.4	7.1	12.5
■ 予定をしており、気にせず行く層	2.7	0.9	5.0	1.9	3.0	1.9	3.1

じゃらんリサーチセンター2021年9月:  
「第8回新型コロナウイルス感染症の旅行市場への影響」



- 旅行の形態としては夫婦2人旅行やひとり旅が増加傾向。友人との旅行や団体旅行が減少傾向にある。
- また、近隣での旅行も増加の傾向が著しく特に北海道・沖縄に加えて東北や九州などで県内旅行が活性化していることが分かる。

## ■ 国内宿泊旅行の同行形態（単一回答／延べ宿泊旅行件数ベース）

「夫婦二人での旅行」が3割を占め、前年度から4.5pt増加。「友人との旅行」が2.6pt減少。「ひとり旅」は17.8%で、ここ数年の増加傾向はストップ。

	ひとり旅	恋人との旅行	夫婦二人での旅行	子連れ家族旅行	小学生以下	中学生以上	親連れ家族旅行	その他の家族旅行	友人との旅行	職場や団体旅行	その他
(20年度) 全体	17.8	9.4	29.7	11.6	4.3	8.1	7.5	9.9	10.8	1.1	1.2
(19年度) 全体	18.6	8.2	25.2	11.5	4.2	8.4	7.9	12.5	2.5	1.1	1.2
(18年度) 全体	18.0	7.8	25.2	12.0	4.5	8.4	7.8	12.8	2.7	1.0	1.2
(17年度) 全体	17.2	7.3	25.7	11.1	4.5	8.9	8.4	12.7	2.9	1.2	1.2
(16年度) 全体	17.2	7.0	25.5	11.8	4.3	8.5	8.3	13.1	3.2	1.2	1.2
(04年度) 全体	10.5	8.1	22.4	14.6	4.3	7.3	8.6	15.3	5.8	3.0	1.2

## ■ 県内旅行比率(近隣化の検証)

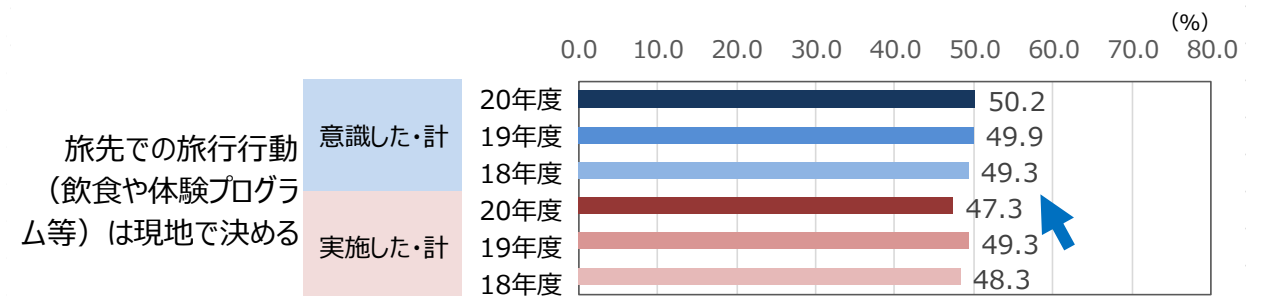
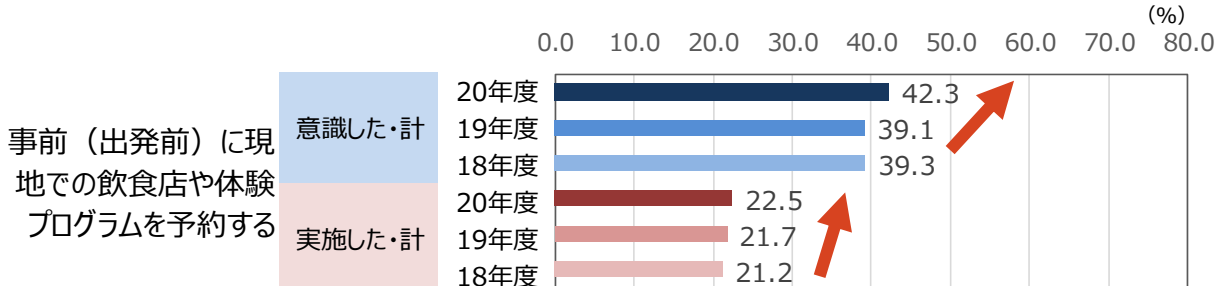
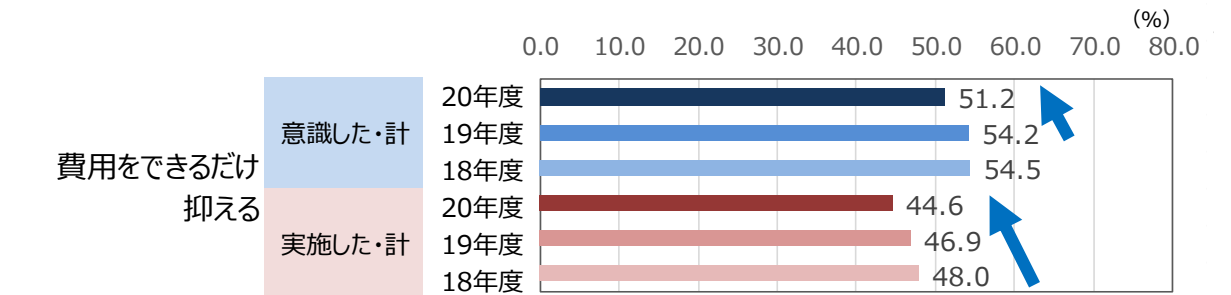
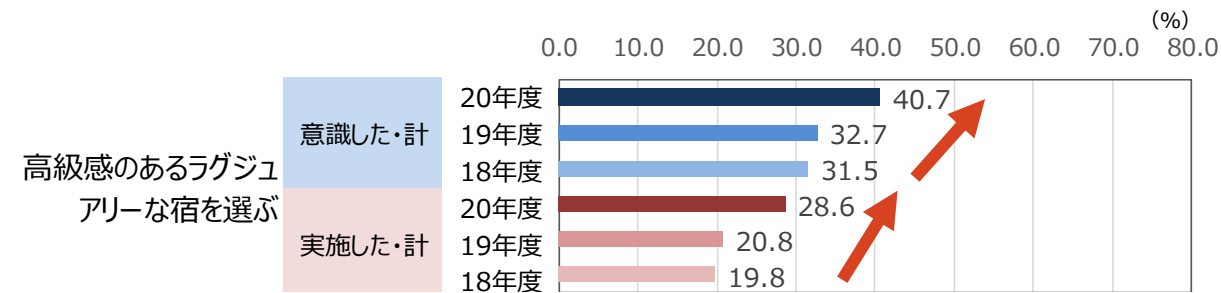
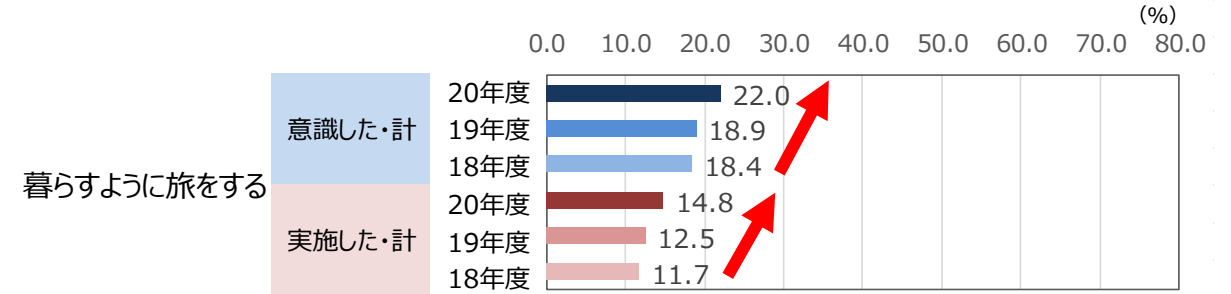
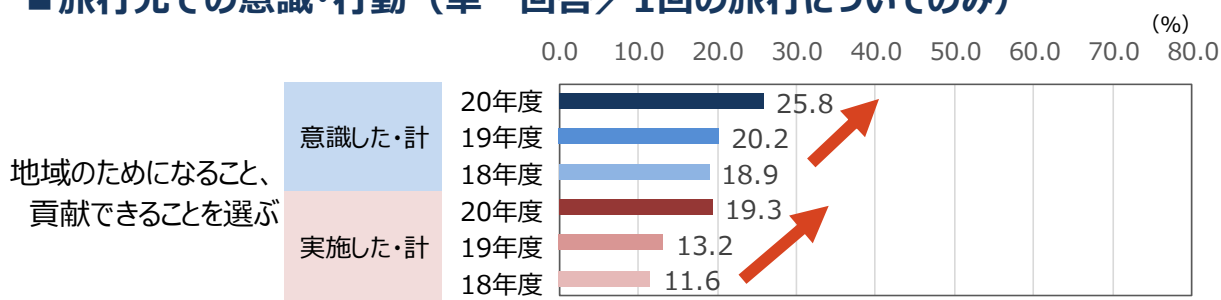
県内旅行のシェアは全体で23.9%。前年度と比べて13.8pt上昇と近隣化が顕著。県内旅行の割合が多いTOP10には、東北から4県、九州から2県がランクイン。

居住都道府県別 県内旅行の割合 上位10県 (%)		2020年度		居住都道府県別 県内旅行の増減差 上位10県 (%)		2019年度→2020年度	
全体		23.9		全体		+13.8	
1位	北海道	76.7		1位	秋田県	+54.9	
2位	秋田県	61.0		2位	岩手県	+42.5	
3位	岩手県	59.5		3位	鹿児島県	+35.3	
4位	沖縄県	55.2		4位	徳島県	+35.0	
5位	鹿児島県	49.9		5位	山形県	+33.6	
6位	新潟県	48.1		6位	沖縄県	+32.9	
7位	山形県	47.7		7位	青森県	+32.2	
8位	長野県	42.7		8位	新潟県	+31.8	
9位	青森県	42.4		9位	鳥取県	+30.5	
10位	熊本県	41.9		10位	愛媛県	+30.1	



- 「地域のためになること、貢献できることを選ぶ」「暮らすように旅をする」など地域密着型の旅行スタイルが増加。一方「費用をできるだけ抑える」が減り、「高級感のあるラグジュアリーな宿を選ぶ」が上昇。
- 「事前（出発前）に現地での飲食店や体験プログラムを予約する」も増加傾向。

## ■ 旅行先での意識・行動（単一回答／1回の旅行についてのみ）



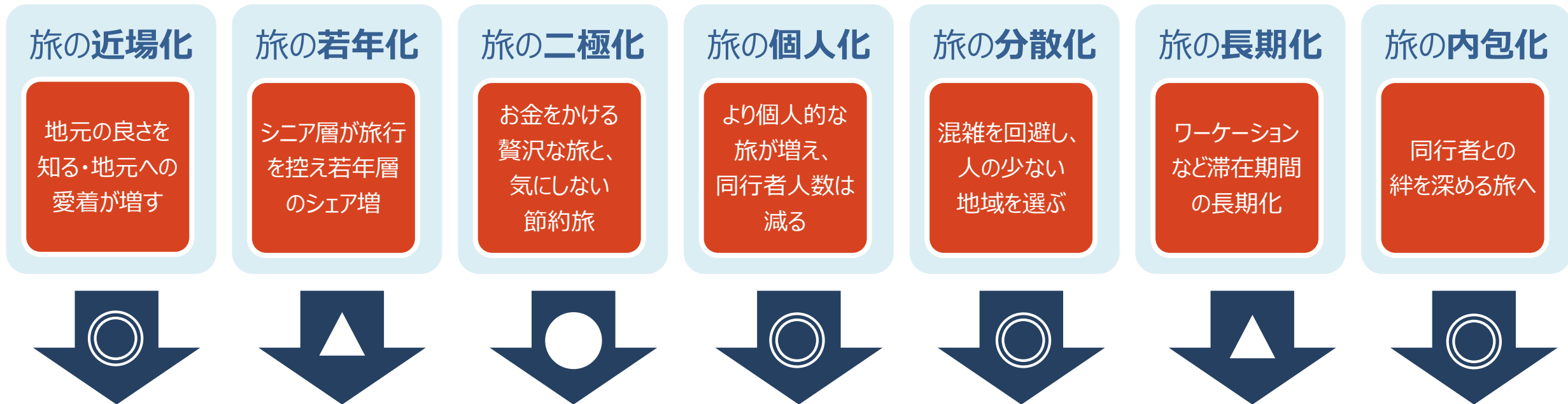
※ 実施した・計＝「意識して、実施した」「意識しなかったが、実施した」を合わせた割合  
 ※ 意識した・計＝「意識して、実施した」「意識したが、実施しなかった」を合わせた割合

# 旅行ニーズの変化とコロナ後の見通し

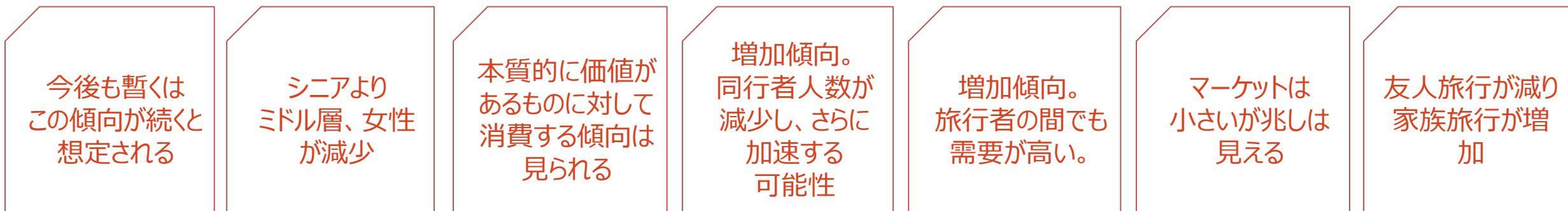


- コロナ禍で生じた変化は、コロナ後もしばらく継続する見通しである。
- 旅行の個人化などが進む中、現地での旅行体験の充実が重要になってくる。

## ■ コロナ前から見られていた傾向

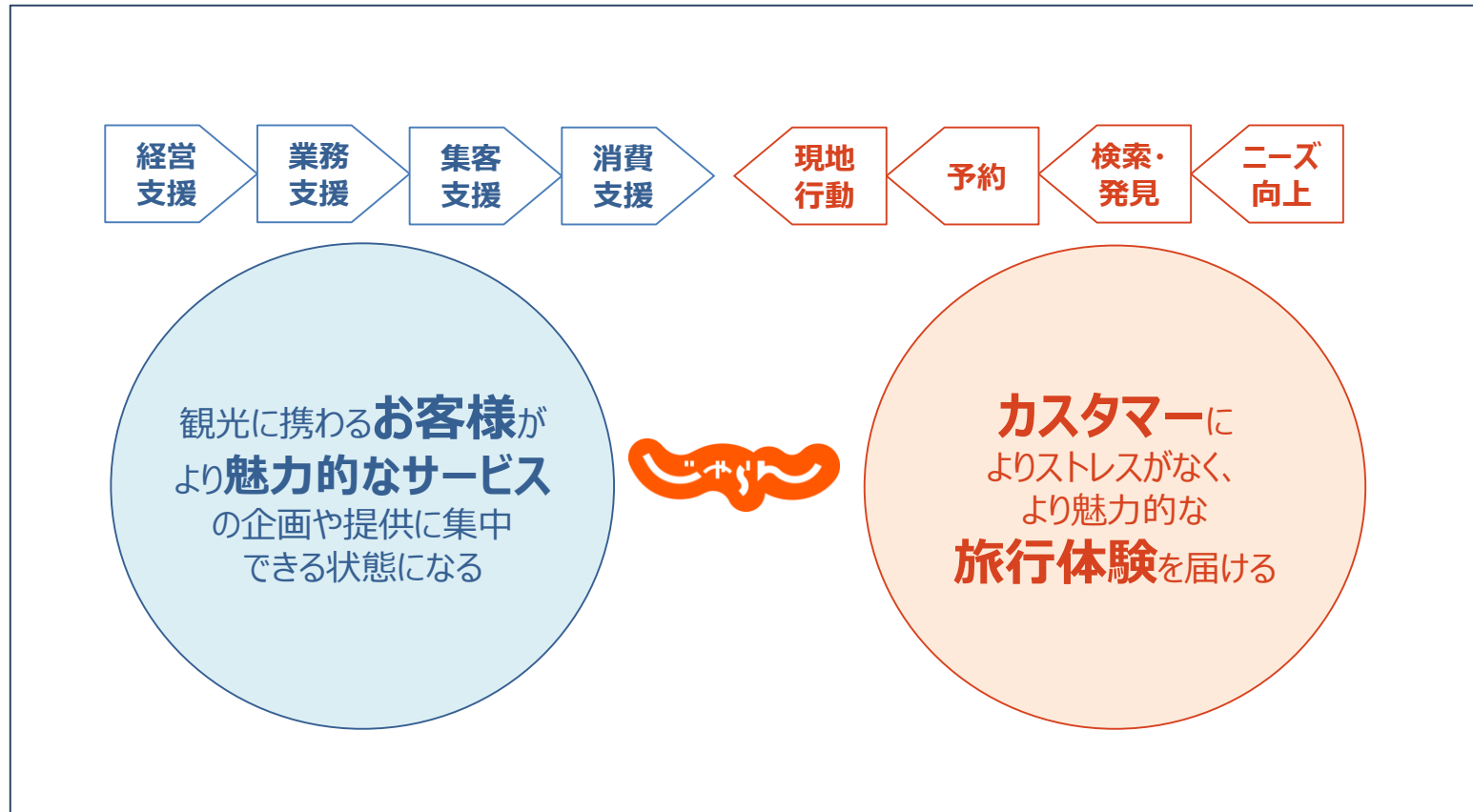


## ■ コロナ後の想定される傾向





- 「旅行の回復傾向」「旅行ニーズの変化」を踏まえて、『じゃらん』が実現したいことは
  - ① 観光に携わるお客様を支え、カスタマーにより良い旅行体験を届けること
  - ② それにより、観光を通じた地域の活性化をしていくことと考えています。







- 旅行に関する「シームレス」で「ホリゾンタル」なサービスをご提供できることにあります。

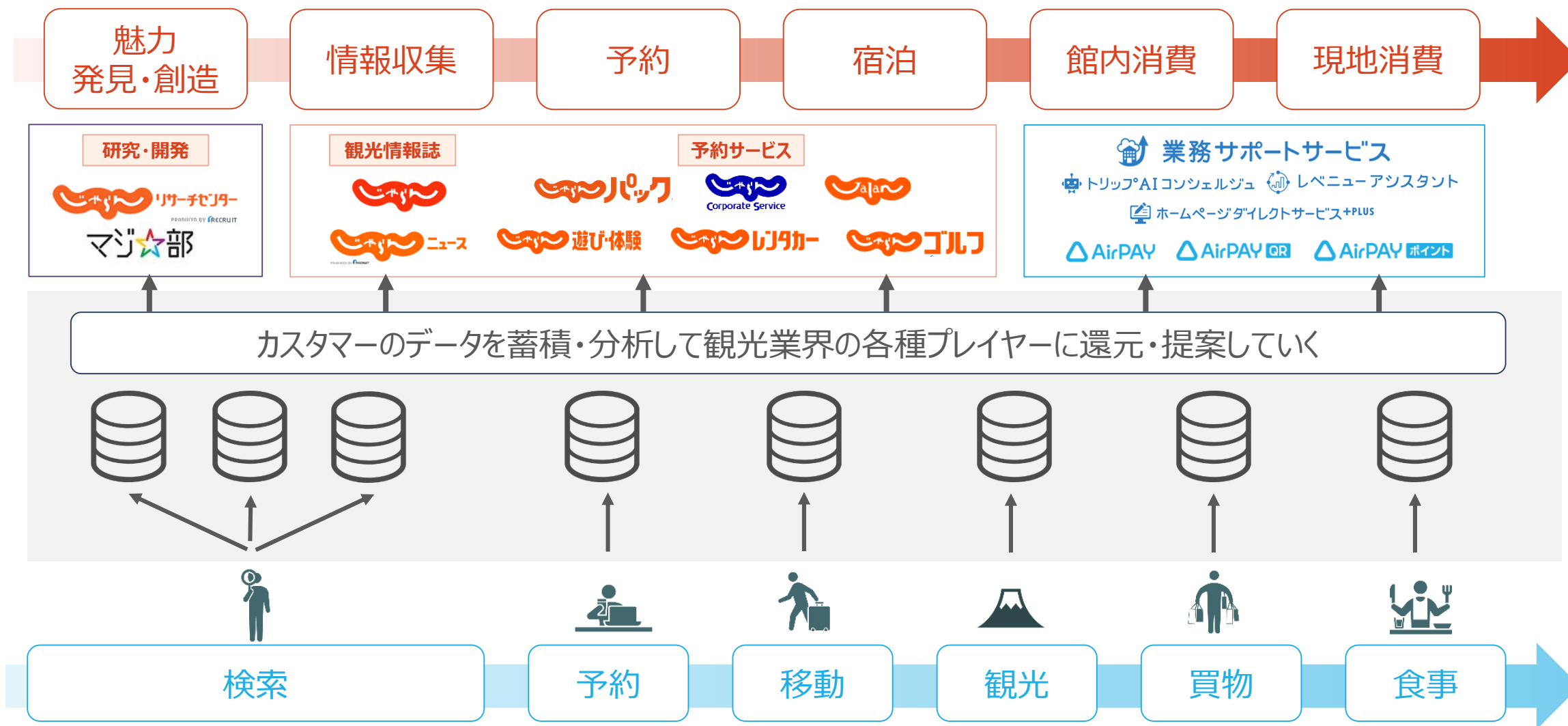


旅行顧客が旅を楽しむために必要な情報を「旅マエ」から「旅ナカ」までシームレス(途切れなく)かつホリゾンタル(幅広く)提供。顧客がストレスなく1人1人の旅を楽しめるように進化していきます



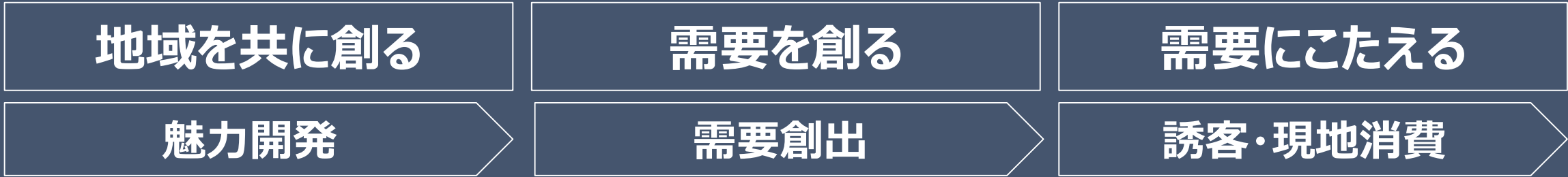


- サービス提供の過程で生まれるデジタルデータを蓄積・分析することで観光業界の進化に貢献します。





- 幅広い活動を進めているが、直近では自治体との観光DXの取組をスタートさせている



じゃらん宿泊 旅行調査	ご当地グルメ	DMO提携
人気温泉地 ランキング	商品造成	組織造り
出向による地域力向上		



保有データ・サービスを活かした  
観光DXの先進的事例の構築  
(山梨県富士吉田市/新潟県妙高市との包括連携協定)

デジタル技術を複合的に活用しながら、観光サービスの変革と新たな観光需要の創出を実現するために、包括連携協定を結びリクルートと自治体、自治体の管轄内の事業者と連携をして地域消費プラットフォーム構築の実現を目指してまいります。  
①Airペイ等を導入してデジタル消費基盤を構築/②リクルート保有データを提供して人流・金流を可視化して分析を行う など

- あらゆる観光に関するプレイヤーとパートナー関係を結び、観光の明るい未来を共創していきます。

## 旅は、 360度の 舞台へ。

旅には、数え切れないほどの機会が詰まっている。  
もっと繋がって、さらに広がって。  
まだここにはない機会と機会の共演が、  
感動の舞台を創っていく。

観光だけが旅じゃない。  
出張も、散歩も、途中下車も旅かもしれない。

ランキングだけじゃない。  
一人一人の1番があっていい。

旅の検討から現地の情報まで、  
シームレスに繋がったら何ができるだろうか。

移動、宿泊、お土産、体験まで、  
すべての支払いを簡単にできないのか。

それらすべてのデータを繋ぎ合わせ、  
魅力を磨き、発見を増やし、  
旅をもっと面白くできないか。  
地域をもっと元気にできないか。

旅は360度の舞台。  
みんなが主役。みんながパートナー。

360° TRAVEL PARTNER

今だからこそ。未来のためにこそ。共に創ろう。

# 360° TRAVEL PARTNER

